

タンジェリン



明け急ぐ夜に 僕らは海を見てた
数えることも出来ないほど遠い日 2人が出会う朝

思えば 1人でいたから めぐり逢えた
月の光 たよりに歩き出した ふたつの小さな影

幼すぎて はらはらと 若すぎて はかなくて
手のひらから きらきらと 落ちる砂は涙

記憶の箱から 何かを探している
僕の心の迷路の答え 何処かに沈めて

重なる光と影のように
わずかにずれた2人の時計
そう 君がいたから 僕は僕でいられた
逢いたくても もう逢えない人

時を越えて こだます 君の声はブルー
移り変わる景色さえ あの街にまぎれて
幼すぎて はらはらと 若すぎて はかなくて
この胸には きらきらと 帰らない面影